

100円にお買い物は負けるな 東近江市で!



秋を告げる花の色の競演

「もう限界」、深刻なごみ問題や路上駐車 市もオーバーツーリズム対策実施

奥永源寺のキャンプ場に観光客が集中

盆休みの3日間、奥永源寺のキャンプ場は異常な賑わいを見せていました。もはや、「賑わい」というそんな喜ばしい言葉では済まされない状況でした。コロナ禍における外出自粛や7月の長雨の影響などから、8月に入り来訪者が急増。盆休みや週末には各キャンプ場が満杯の状態となり、キャンプ場以外の河川区域にバーベキューや川遊びの来訪者が集中し、ごみの放置や釣り客とのトラブルが発生しました。

自然豊かな奥永源寺地域では、キャンプや釣り、登山、シャワークラ イミングなどのアウトドアを目的とする観光客が増加。一方で、地元では、ごみ問題や路上駐車が深刻な問題となっていました。このため、市ではシーズンを前に警察や県、地元関係者の皆さんと対策の会議を開催し、今年から本格的にオーバーツーリズム対策が実施されました。特に今年は警察による路上駐車の取締強化と、クッション



3つの約束を必ず守りましょう!

- 『パトロール強化中』他の交通の妨げとなる危険な路上駐車はやめましょう。
- 『来た時よりも美しく』バーベキューなどで出たゴミについては、全て持ち帰りましょう。
- 『屋外でも距離に注意』釣り客や他のお客さんとの距離を保って安全に楽しみましょう。

3つの密を避けるための手引き!

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、マスク、手指衛生等に加え、『3つの密(密閉・密集・密着)』を避けてください。
- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り『ゼロ密』を目指しましょう。
- 屋外でも、密集・密接には、要注意。人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。

東近江市は、奥永源寺の素晴らしい自然を守るため「オーバーツーリズム対策」を実施します! 【問合せ先】 東近江市観光物産課 電話:0748-24-5662 E:kanko@city.higashiomiji.jp

来訪者に配布された啓発チラシ 【オーバーツーリズム】観光客の過度な集中が地域住民の生活や自然環境に悪影響を及ぼし観光地の魅力低下にもつながる事態のこと

ドラムを設置しての対策により、路上駐車台数は大きく減少しましたが川遊び客による道の駐車場への長時間駐車が発生、キャンプ場以外の河川ではごみの不法投棄が目立つなどの課題は、解決するまでには至りませんでした。市の担当者は、「多くの方に来ていただけるのはありがたいですが、今年は特に地域が受け入れられる容量を超える状態にありました。キャンプ場以外に河川の利用規制を図るなどの対策や、来訪者のマナー向上に向けた啓発活動、巡回パトロールの強化など、県や関係機関、地元事業者と連携して対策していきたい」と、話されました。奥永源寺を訪れる目的もさまざまですが、皆がマナーを守り気持ちよく遊べ、「また是非来よう」と言われる奥永源寺であって欲しいと願うばかりです。



国道421号を中心に路肩に並べられたクッションドラム

編・集・後・記

ある日に、夫婦の方がこの場所をご存じないですか?と訪ねてこられました。それには奥さんが幼いころに父親と橋の上で手をつないで撮った一枚の写真でした。

赤い吊り橋が映っており、父親が早く亡くなられ、一人で手をつないだ写真が、これだけなので、どうしてもここを知りたいと15年前からさがしているとのこと。

そこで、捜査開始。もう一枚の兄妹で映った写真をよく見ると、バックは間違いなく永源寺ダム、そう言えば昔、相谷に吊り橋があったのを思い出し、このあたりに橋がありましたと伝え、やっと見つかったと喜ばれダムの見える手前の道で記念写真を撮っておられました。

しかし橋の欄干に少し不安があり後日、地元相谷町のカメラマンに連絡、昔の写真を送ってもらって確認、拡大してみれば、対岸に同じ石垣が見えました。それを送って確実にここですとメールしましたら大感激。苦しい時、悩んだ時にこの写真を見て自分を励まされたそうだと45年前の写真を持って、仏壇に報告されました。

この橋は今ありませんが、こんなドラマがあったのかと思うと、懐かしい昭和が、よみがえりました。(Y)

こんにちは 保健師 です

●今年は特にインフルエンザ対策をしよう

インフルエンザは予防接種で発症や重症化を予防することがある程度可能です。予防接種を積極的に受けておきましょう。

理由としては・・・

- ◆新型コロナウイルス感染症の再流行が心配
- ◆再流行が冬期にかかるインフルエンザの流行と重なる
- ◆発症すると新型コロナウイルス感染症との区別がつきにくいことがある
- ◆高齢者などのハイリスク者は、どちらにも注意が必要

●インフルエンザの予防接種を受ける場合の留意点

①流行期前に受ける・・・インフルエンザの流行期は12月から3月です。免疫ができるまで約2週間かかりますので、流行する前に受けましょう。

②毎年1回受ける必要があります・・・予防接種の効果が持続するのは5箇月から6箇月ほど。流行するウイルスのタイプも変わるため毎年1回(13歳未満は2回)受ける必要があります。

●ハイリスク者は積極的に接種を

ハイリスク者(高齢者・基礎疾患がある人・妊婦・乳幼児など)はインフルエンザにかかると重症化したり、肺炎を合併する危険性が高くなります。医師と相談の上、積極的にワクチンを接種しましょう。ハイリスク者は、新型コロナウイルス感染症のハイリスク者でもあります。

ただし、より必要とされている方に届くように接種時期のご協力をお願いします。10月1日～65歳以上の方優先。10月26日～基礎疾患がある方、妊婦、乳幼児など。

●インフルエンザ予防接種

◆助成対象期間 10月1日から令和3年2月28日まで

◆助成対象者

- ①65歳以上の高齢者 全額助成 一人1回に限る
- ②満60歳～64歳の人で、かかりつけ医による「接種者該当事由書」がある人 全額助成 一人1回に限る
- ③妊婦 2000円助成 一人1回に限る
- ④生後6か月から中学3年生までの子ども 2000円助成 13歳未満は2回、13歳以上は1回に限る

※③、④の人は医療機関で助成金額2000円を差し引いた金額をお支払いください。

◆接種に必要なもの

- ・住所、氏名および年齢を確認できるもの(健康保険証、運転免許証、マイナンバーカードなど)
- ・母子手帳(妊婦および生後6箇月から中学3年生までの子どもが接種する場合)

【お問い合わせ】

永源寺支所保健師の窓口

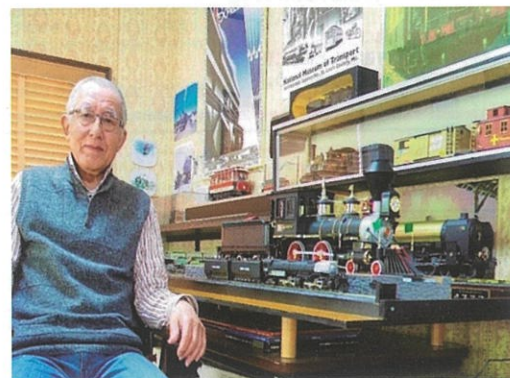
電話 0748-27-1138 IPO505-5801-5634



■糟井信吾さん(永源寺高野町)

幻の八日市鉄道永源寺線をヒントに、八風街道を東進し、八風峠下のトンネルを抜け伊勢路へと向かう山岳鉄道「Happoo Railway 八風鉄道」を長年構想。精巧に作り込んだ模型の世界で、夢を乗せ幸せを運ぶ鉄道を展開する。

【ひとこと】80歳になったこの機会に、これまで家から一度も出したことがないジオラマを多くの人に見ていただき、走る機関車だけでなく、山やトンネル、まちなみなどの情景に対する私の思いを少しでも感じ取っていただければ幸いです。



■今若 茂さん(永源寺相谷町)

20歳でD51と出会ったことをきっかけに、蒸気機関車の魅力にとりつかれる。1970年代は消えゆくSLを追いかけて旅し、1990年代は復活したSLをたよりに旅した。汽笛、煙の臭い、迫力を写真や映像におさめることを信条とする。

【ひとこと】2階の物置にネズミにかじられて、放ってあった48年前の変色した古い蒸気機関車の写真が、やっと日の目を見ることができました。一枚一枚に思い出があり、モクモクと煙を上げて走る機関車を追いかけた気持ちになります。



まちの話題



鈴鹿10座エコツーリズムガイド養成講座開講



「鈴鹿10座」のエコツーリズムガイドを養成する講座(全10回)が、9月3日から道の駅奥永源寺溪流の里で開かれています。主催は、市エコツーリズム推進協議会。鈴鹿の魅力や自然の大切さを利用者に伝え、保全活動に取り組む人材を育成する講座で、県内外の30～60歳代の男女10人が受講されています。

講座は、山の自然や歴史・文化、登山の知識や救急対応などを専門家から学び、現地研修も行われます。初回は、マキノ自然観察倶楽部事務局長が「エコツーリズムの推進方策」について講義。マキノの取り組みを紹介し、ポイントは住民を巻き込んで地域の魅力を掘り起こし、地域全体で取り組むことですと強調されていました。

大本山永源寺で防火訓練 市消防団も出動



9月27日、午前7時から大本山永源寺と東近江市消防団の合同による防火訓練が、永源寺の境内で行われました。

最初に8人の永源寺の和尚さんが境内に設置されている消火栓にホースを繋いで方丈前に放水が行われました。その後、消防団員の方々が門前から境内まで何班かに分かれて、お寺の下を流れる愛知川から表参道沿いにポンプアップを行い迅速に方丈前の消火活動が行われました。訓練後和尚さんたちは、やはり日頃から災害に備え、訓練を怠らないことが大切だと再認識させられましたと話しておられました。防火訓練は永源寺地区の消防団の要請でここ2年続けておられ、今後も継続していかれるそうです。

藍の生葉染め教室を開催 おいでな高野



9月27日に永源寺コミュニティセンターで、「おいでな高野」主催の藍の生葉染め教室が開催されました。これは地元で育てている藍の葉を摘み取り、絹のスカーフなどを染めるものです。

当日は遠方からの参加もあり、体験者10人、スタッフ6人で、布にピー玉や輪ゴムで細工をし、水に藍の生葉を浸して少し力を入れて揉みだすと、綺麗な緑色の液になります。そこに絹の布を入れては、空気に触れさすことを何度も繰り返し、染め上がった布は天日干しにより、鮮やかな藍色に変わりました。今回は初体験の人も多く、皆さん染め上がったデザインの出来栄を楽しんでおられました。

清流の日に一斉清掃 愛知川清流会



8月30日、市が指定する清流の日(8月末の日曜日)に、愛知川清流会の一斉清掃が行われ、農繁期にも関わらず約40人の会員が参加し、猛暑の中、河川清掃に汗を流されました。

この日は、小椋市長や小寺衆議院議員から激励の言葉を受けた後、7つのグループに分かれ、御河辺橋からダム上流の愛知崖までの約15km、3時間に及ぶ作業が行われました。平成25年に発足した愛知川清流会では、毎年清掃活動や河川敷の草刈りの作業が行われており、その成果もあり毎年ごみの量も少なくなってきましたが、ごみを持ち帰るよう啓発にも努めていきたいと、話されていました。



筒井神社の狛犬。台座が円形で木地師所縁の神社にふさわしい。茨川の住民が寄進されたもので、茨川と蛭谷は、縁が深かったという。

氏子の皆さん「万感の思い」で参列 てんしょう 廃村から55年、天照神社遷宮



久しぶりに再会された茨川の氏子の皆さん

昭和40年8月19日、最後の一家が村を離れ、廃村となった茨川。廃村から55年が経過し、このたび、村の守り神である天照神社の祭神が、蛭谷町の筒井神社に合祀されることになり、10月4日、氏子の皆さんが見守る中、遷宮の神事が営まれました。午前9時、ご神体をお迎えする筒井神社で野神宮司により祝詞が挙げられた後、両神社の氏子の皆さんは、車で1時間かけ



天照神社。茶屋川沿いに鎮座。神社由緒帳では、天保13(1842)年に遷座とある。祭神は国常立尊(くにのとこたちのみこと)。

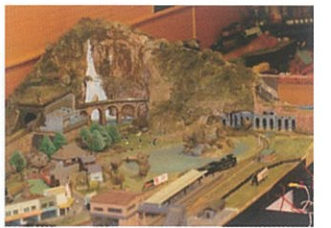
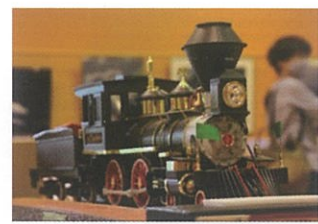
茨川に移動。天照神社でも神事が執り行われた後、ご神体を取り出され、午後2時過ぎ、無事に筒井神社本殿に遷座されました。村を守り続けた氏神。「心の灯火だけは守りたい」と、廃村後も、秋の例大祭と境内の管理は毎年行われてきましたが、出身者の高齢化も進み、遷宮という英断を下されました。ひとつの村が無くなることや村中の安寧を守り続けた氏神が無くなることへの皆さんの寂寥感、その地で暮らした人の心から消えることなく、茨川という村が存在し、そこで暮らしたが営まれたという史実は、東近江市の歴史にしっかりと刻まれることでしょう。



市道山上上二俣線
山上と上二俣を結ぶ市道と国道421号の交差点改良工事が完成しました。残りの工事は、グラウンド隣の交差点で、左の図のように、信号機に頼らない円形交差点であるラウンドアバウトが計画されています。今秋から来年にかけて工事が行われる予定です。ちなみに、先日、日野町内池でラウンドアバウトが開通した情報を得ました。

市道山上上二俣線

クローズアップ☆



大盛況に終わる。「鉄道に魅せられた人たち」展



子どもたちに大人気。模型の運行実演に見入る親子連れ

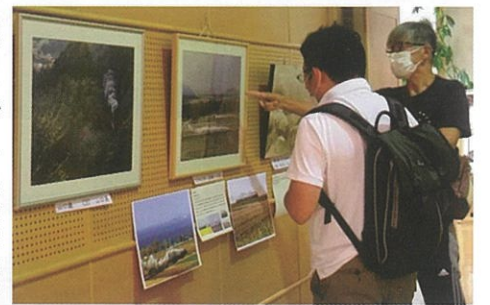


精巧に作られたジオラマ

9月2日から24日に行った「鉄道に魅せられた人たち」展には、県内外から大勢の方が押し寄せました。永源寺高野町の糟井信吾さんが長年集めてこられた鉄道模型と、永源寺相谷町の今若茂さんが全国で撮影されたSL写真の展示です。(永源寺図書館から情報提供)

糟井信吾さんは、大小さまざまな機関車模型や、精巧なジオラマを展示。60年来的鉄道ファンで、1988年から3年間ほどアメリカに転動したときには、「ビッグボーイ」と呼ばれる世界最大の蒸気機関車に魅了されたそうです。また、まち協の情報紙に毎号写真を提供する今若茂さんは、高校卒業後にカメラを始め、モクモクと煙を上げて走るSLの迫力のとりこになったそうです。今回は日本各地で撮影した写真24点を展示

されました。期間中はNHKをはじめ、各新聞など多くのメディアで取り上げられたため、多くの方が図書館へ来館。県外から近江鉄道とちよこっとバスを乗り継いで来られた方や、タクシーで来られた方もいらっしゃいました。中には糟井さんを質問攻めにする鉄道マニアの方や、今若さんの写真に刺激されて熱い語りを繰り広げる方もいらっしゃいましたが、お二人とも丁寧に対応していただきました。土・日曜日に行われた模型の運行実演では、子どもも大人も大喜びでした。貴重な写真や模型が展示されていたため、催しを企画した「楽々ひろば」や「住めば都」プラン推進会議のメンバーが手分けして当番を決め、来場者の対応や実演にあたっていました。地域の人々のすばらしい協力で、永源寺の宝とも言えるこれらのコレクションをたくさんの方に見ていただくことができました。



SL談義に盛り上がる今若さん

有限会社 テラダオート

近畿陸運局認証工場



信頼と実績・真心で 迅速対応

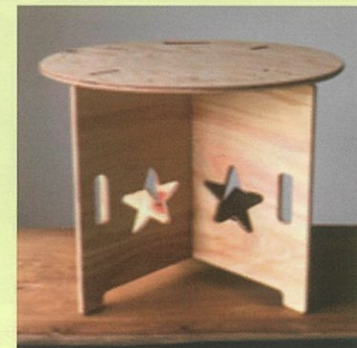
新車・中古車販売・車検・一般整備

営 AM8:30~PM6:00
休 日曜・祝日・第2土曜
住 東近江市池田町951-2

TEL 0748-23-0674
IP電話 050-5802-3444

奥永源寺溪流の里

限定キーホルダー
あります。
ぜひ、お立ち寄りください。



Aochi Life Create



(株)青地ライフクリエイト

東近江市市原野町3148

http://aochi-lc.com

「かけっこ」ニコニコ笑顔で走ることが
楽しい3歳児。競争心が芽生えてきてゴ
ールまで全速力の4歳児。



格好よく入場行進できました。



【3歳児親子ダンス】おうちの方
も、とても楽しそう。



【4歳児たまげ競争】2チーム
に分かれての合戦。投げまくりま
した。

コロナ禍に負けない 永源寺もみじ幼稚園で初めての運動会

10月3日、永源寺もみじ幼稚園の第1回運動会が開催されました。
秋晴れの運動会日和のもと、3歳児から5歳児の元気な子どもたちの声が園庭
いっぱいに響いていました。

コロナ禍により、場所や人数、時間の制限があり、手洗いや消毒などの対策も
必要で、通常とは違う運動会になりましたが、子どもたちの一生懸命頑張る姿に
感動をもらい、子どもたちの力の素晴らしさを感じる時間となりました。保護者
の皆さんの協力のもと、温かなキラキラ輝く素敵な運動会となりました。

【5歳児チャレンジ走】今まで取り組んできた運動
遊びをおうちの方の前で披露。鉄棒、跳び箱、縄跳
びなど、自分で頑張る内容を決めて挑戦！毎日、
繰り返し練習する姿、かっこよかったです。おうち
の方の前で普段以上の力が出ていました。



頑張ったみんなに、トロフィーと
メダルを授与。



【5歳児リレー】プログラム最後を飾る5歳児のリレー。今年は2ク
ラスのクラス対抗。クラスみんなのためにバトンをつなごうと、一
生懸命な表情の子どもたちの走りに、この日一番の拍手と応援でし
た。

【4歳児リズム】赤と黄色のフラッグを持ち、み
んなで動きを合わせようと考えながら頑張りました。大きなバルーンを膨らませたり、左右に揺
らしたりと、友だちと一緒に頑張ることの楽しさを
味わっていました。



【5歳児リズム】組み体操で6つのバランス技に挑戦。動きを合わせるた
めに何度も練習した成果が出て、ウェーブもきれいにできました。ダンス
は、アニメソング「紅蓮華」に合わせて踊りました。隊形移動など、さす
がは5歳児かっこよかったです。